

地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成 20 年 12月 20日
事業所名	グループホーム樹樹
ユニット名	2F
事業所番号	2371300860
記入者名	職名 管理者 氏名 山田彰子
連絡先電話番号	052-758-0070

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>		
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>		
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>		
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>		地域の方との交流の機会をもっと増やしたい。
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>経営者と管理者で話し合ったことはあるが、具体的に取り組むまでには至らなかった。</p>		<p>今後スタッフの意見も聞いて取り組むことがあれば実行していきたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>今までの外部評価の結果はいつでも閲覧できるようにしてある。今年度はスタッフ全員にセルフチェックをしてもらい、各自でホームの課題を考えてもらうようにした。</p>		<p>今後各スタッフから出た意見や考えをもとに話し合いをすすめ改善に取り組んでいきたい。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>報告は行っているが、それに対する具体的な御意見はあまり頂けておらず、話し合うというところまでは至っていないと感じる。</p>		<p>今後運営推進会議のありかたについてメンバーの方々にもう一度話をさせて頂き、共にサービス向上を目指したい。</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>社協を通じてボランティアの方が数名定期的に訪問して下さっている。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>成年後見制度を利用している利用者の方はいらっしゃる。制度の詳細については、おそらく全員の周知には至っていない。</p>		<p>資料やレジメを用意し職員に知って頂く機会を設けるようにしたい。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>以前高齢者虐待についてのレジメを管理者が作成しスタッフに配布した。利用者への接し方や言葉遣いなどに関して、おかしいと感じる部分についてはミーティングや個人面談等で指摘、話し合いを設けるようにしている。今後も継続的に勉強の機会は設ける。</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ホームの入り口に御意見箱を設置している。毎年苦情受付表を御家族にお渡ししており、御意見があれば気兼ねなく使って頂けるようお話している。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>毎月樹樹だよりを作成・郵送し、ホームでの生活の様子をお知らせしている。担当スタッフからの手紙も添え、金銭のこと（お小遣いの残高、レシート等）やご本人の具体的な様子などをお知らせするようにしている。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>毎年御家族には苦情受付表をお渡ししており、玄関には投書箱を設けている。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月一度フロアでミーティングを行い、様々な意見を聞くように努めている。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>事前に人員が必要と分かれば勤務は組み直すなどして調整を行っている。行事や受診時にはあらかじめ多めに配置してある。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ホーム内でのスタッフの異動は最小限とし、事前に十分な検討を行っている。1Fと2Fは自由に行き来ができ、日常的に交流もある。樹樹として全体を包括的に援助をするよう努めており、スタッフの配置換えの際の利用者へのダメージは少なくしている。		スタッフの異動については利用者様の意見を聞くべきか今後スタッフ内で検討したい。
5.人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修のお知らせは張り出して希望を募り、できるだけ参加してもらうようにしている。先日外部からの講師を招きホーム内で講習（緊急時対応）を行い、また3月には全スタッフを対象に救命講習をホーム内で行う予定にしている。新人スタッフには毎日レポートを書いてもらい管理者と話す機会を設けている。		ホーム内での勉強会を企画したい。
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	名古屋市のグループホーム連絡協議会にはできるだけ出席するようにしている。		
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	個別に話を聞く機会を設けるように努め、ミーティングでも話し合いの機会を設けるようにしている。休憩は必ず取っており、そのための部屋もある。		
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	努めている。運営者は平日の日中はほぼ毎日ホームに来ており話をする機会が多い。勤務状況などはよく把握されている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>相手の話は親身になって真剣に受けとめるよう努力している。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>お話を聞く時は十分に時間をとり、相手の話をよく聞くよう努力している。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>そのかたにとって必要であると判断した場合には、他のサービスや施設の状況、概要などをお話するようにしている。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>面接後、本入居の前に希望者には、おためし入居という形で樹樹でしばらく過ごすことを勧めている。本人があまり緊張せず、リラックスして他入居者と過ごせるようスタッフは配慮を心がけている。</p>	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者のことを「ファミリー」と呼び、スタッフも含め樹樹はひとつの家族として考えている。様々な場面を共に過ごすなかで、そういった機会は十分に持っているとと思う。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族によってまちまちだが、面会時などで顔を合わせた時などは御本人の様子などについてお話をしよう心がけている。必要時は電話もし、可能な範囲内で樹樹にご協力頂いている。		
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	御家族とのより良い関係のため、毎月のお便りをはじめ、利用者様を含めた家族会、夏祭りの参加など勤めている。		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	重要性は十分に理解し、できるだけ努めている。ご友人とお手紙や電話のやりとりをしている利用者はおられる。御家族様の協力も仰ぎたい。		
31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	食卓の座席には利用者間の関係性を考慮したうえで決めている。認知症ということで、なかなか他者と円滑にコミュニケーションがとれない方もなかにはおられるが、そういった方にはスタッフが間に入り、場を和やかにしよう心がけている。		
32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	継続的な関わりを必要とするかたがおられれば努めたいと思う（これまでに例がないが）。		経営者、スタッフと相談したい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>茶話会で意見を聞いたり、日々の生活のなかで聞いたお話はスタッフ間で把握し可能な限り希望に沿うようにしている。意思表示の難しい方に関しては御家族の意見なども取り入れるよう努めている。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居前にできるだけ話は聞くように心がけている。入居後もそういった話を聞くよう努め、生活に何か活かせるものがあればスタッフ同士情報共有し改善に努めている。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>担当スタッフを中心として努めている。バイタル、食事量、排泄等は毎日チェックさせて頂いている。</p>	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画については、管理者やスタッフと相談のうえ作成している。</p>	<p>家族の意向を汲むという点ではまだ課題として残るので今後検討したい。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>基本的に介護計画の見直しは半年に一度行う。毎月担当スタッフでプランのモニタリングをしており、必要に応じて計画作成担当者が随時変更し対応している。状態が著しく変化した利用者については、御家族と話し合う機会を設け説明や意見交換などを行うようにしている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	フロアごとに申し送りファイルがあり、様々な情報の共有に役立っている。その他、業務日誌や医療の申し送り書（訪問看護師との連絡用）などがある。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	可能な範囲で柔軟に努めていると思う。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	定期的なボランティアの訪問を受け入れている。傾聴ボラ、太鼓ボラ、音楽セラピー、百人一首など。		今後も積極的に地域資源は活用していきたい。
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	公的なサービスはこれまで行ったことがない。近隣の特養のケアマネジャーと連絡を取り合い、その特養の喫茶コーナーを利用したことはある。		必要があれば行っていくようにしたい。
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要時は協働してきた。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は月に2度往診して下さっている。ホームのかかりつけ医とは違う病院を希望された場合は、その希望に沿うようにしている。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	定期的に認知症の専門外来に通院している利用者もあられる。必要な際には受診をするよう支援している。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	週に一度訪問看護ステーションの看護師に来て頂き健康チェックやアドバイス等頂いている。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院したかたがいればこまめにお見舞いに行き状態の把握や病院関係者との情報交換に努めている。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームとしての指針は作成してあるので必要があれば早期の話し合いをすすめていきたい。		ミーティングで再度確認し話し合う機会を設けるようにしたい。
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	状態に応じて御家族、訪問看護師、かかりつけ医らと連携し努めている。ホームでの対応が困難と思われる場合には適切な環境（施設や病院等）を御家族と相談しながらすすめていくことにしている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		<p>鍵付きのロッカーに保管してあるものもあるが、それ以外について記録物の保管方法を検討したい。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		<p>毎月一度、近隣の美容院に出掛ける日を設けているが、それ以外でも、希望の店があればできるだけ沿うようにしている。化粧セットを用意してあるので出掛ける際などはそれを使いお洒落を楽しんで頂くこともある。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理や後片付けの手伝いは習慣化しており、スタッフが何を言わずとも手伝ってくださる利用者もおられる。		
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	月に一度お酒を飲める日を設けている。煙草は入所時に確認をしているが吸いたいというかたは現在おられない。お茶の時間には個人に希望を伺ったり、一緒に買い物に行くなどして希望を尊重するよう努めている。		
56 気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	不要なパットやオムツは極力減らすようミーティングで話し、その実践を行っている。必要なかたに定時のトイレ誘導や排泄チェックを行っている。		
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴はのんびりゆったりとして頂くよう努めている。入浴は月木以外の午後となっているが、ご本人の希望や体調に合わせてそれ以外でも臨機応変に対応するよう努めている。		入浴後パジャマを着ることについてスタッフ間で話し合う機会を設けたい。
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者様の様子を見て休んで頂いたりしている。朝は無理に起こすことはなく、御本人のペースに合わせるよう努めている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活のなかでお料理や洗濯などのお手伝いを積極的に取り入れさせて頂いている。利用者の中には、居室でキーボードを弾いたり趣味を活かせるよう支援している。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の所持については、御本人の希望や状態をみて決めるようにしている。現状としてはトラブルを避けるためホームで管理させて頂いている方がほとんどだが、個人の買い物時はその方の財布を持って行って頂きそこから支払って頂くようにしている。		
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	できるだけ外に出る機会を多くとりたいと考えているが全ての希望に沿うことはできていないと感じる。		スタッフの配置に余裕があればもっとその機会を多くしていきたい。
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個々の希望は茶話会などで毎回聞くように努めており、個別にそういった話を聞いた場合は他スタッフも把握するよう努めている。バスを貸切って全員で遠出することもある。		重要性は理解しているものの、人員配置上、なかなか個別外出の機会は設けられていない。御家族にもお話をし、是非そういう機会を積極的に作っていききたいと思う。
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人様より希望があればいつでも行える。年賀状や暑中見舞いなど、外部とのやりとりも勧めている。		
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	来訪した方にはスタッフから気持ちの良い挨拶を心がけ居心地良く過ごして頂けるよう心配りをしている。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	レジメを作りスタッフに配布した。今後も継続的に話し合いの機会を設けるなどして意識の向上に努めていきたい。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は身体拘束にあたることをスタッフに伝えている。以前はどうしてもの場合のみ玄関を施錠することがあったが、現在はそのようなことは行っていない。		
67 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	フロアには必ずスタッフが常時一人いることと定めている。特に危険と思われる利用者様の居場所や様子はスタッフで声を掛け合うなどして常時把握するように努めている。ご本人が「いつも見られている」とストレスを感じないように、何事もさりげなく行うよう気をつけている。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	認知症により失認がある方には、すぐに危険な物を撤去のではなく、できるだけスタッフの見守りやさりげない声掛けで対応するようにしている。包丁や消毒液等の明らかな危険物は所定の場所に使用後すぐに片付けるようにしている。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ミーティング時、その月に起こった事故やヒヤリハットについての振り返りを行っている。		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	先日ホーム内で緊急時対応の講習を受けた。3月には救命講習も全スタッフを対象に行う予定にしている。		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署に協力してもらい年に一度防災訓練を行っている。居室には非常用持ち出し袋、フロアには防災頭巾を常備している。いざという時のヘルメットも用意してある。		地域のかたへの働きかけはまだ不十分と感じている。町内会長様と相談しながら今後の話を決めていきたい。具体的な避難方法をスタッフ間で話し合う機会を設けるようにする。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		薬の目的や副作用、用法などもっと理解できるよう努めたい。
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>		もっと身体を動かす機会を設けるようにしたい。
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	マニュアルを作成したり、ミーティングでスタッフに話をするなどしている。普段は手洗いうがいを励行している。インフルエンザについては利用者・スタッフとも予防接種を行っており、MRSAは入所時に検査をしている。		再度話し合う機会を設けたい。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は週に4回配達、料理には新鮮な物を使用するようにしている。調理器具などは衛生面を考え、定期的に掃除・消毒等行っている。布巾は毎食後消毒し洗っている。		衛生面についてもう一度話し合うこととしたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	ホームの外観は普通の家とあまり変わらない。門には鍵をかけておらず、庭には洗濯物を干すなどして生活感が出ている。季節ごとの花も植えるようにしている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアにはその季節に合った飾り付けをしており、茶話会でも季節の話題を織り込んでいる。利用者様にとって不快なものがある時はその都度臨機応変に対応するようにしている。		フロア以外の場所でも季節感を感じるような雰囲気作りに努めたい。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホーム内の共用空間として、食卓やソファ、外のベンチ等を設置してあり個人で自由に居場所を選び過ごされている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	御入居時、馴染みの家具や道具の良さを説明して いる。仏壇を入れている利用者もおられ、個人に よって特徴がある。生活用品は、一律同じもの を使っておらず、個人の身体機能や好みに合わせた 物を使って頂いている。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	室内の温度調整は基本的にスタッフが行って いる。出来る限り換気し空気を入れ替えをしたり、 空気清浄機や芳香剤なども活用している。冬場は 乾燥するため居室に濡れタオルを干すなどの対応 も行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活 かして、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	利用者様が安全に生活できるよう、ホーム内バリ アフリーとなっており、必要と思われる場所には 手すりが設置してある。自立支援を目指しその方 に合った方法で臨機応変に対応している。居室は その方にとって最善と思われる場所にしている。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	各利用者様には担当スタッフが付いており、その スタッフを中心としてミーティングで話し合い実 行している。一人ひとりの性格や能力をスタッフ は見極め、適切な声掛けや対応を心がけている。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	本年度庭にバルコニーを増設した。バルコニーで は、洗濯物を干したりバーベキューをしたりと、 有効活用しており、日中は鍵を掛けず出入り自由 としている。庭には畑があり、花の水やりや手入 れなど行ったださっている。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 す る 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

その日の天候や利用者様の気分によって外出を積極的に取り入れており、ホームでは利用者様・スタッフ共に笑顔を大事にして心地よいと思える場所づくりに努めています。